

2024年11月16日(土) 14:05-15:35 (90')  
第35回実務者研修会  
主催:石川県病院薬剤師会  
石川県地場産業振興センター 本館1階 第7研修室

# 地域医療を支える 病院薬剤師の未来像 ～薬剤業務向上加算新設の意義～



崔 吉道

Yoshimichi Sai, Ph.D.

金沢大学 附属病院

教授・病院長補佐・薬剤部長

AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス  
研究開発センター長

sai-ys@staff.kanazawa-u.ac.jp



# Agenda

- ① **背景・現状認識(2025年/2040年問題)**  
**患者と医療者の高齢化、医療介護福祉需給のギャップ。**  
**タスク・シフト/シェア、薬剤師偏在(地域/機能/規模)**  
**目的は住民の健康をまもる医療提供体制の確保である**
- ② **病院薬剤師の確保と育成の取り組み**  
**本院の人材育成プログラム KUPS と地域病院への出向**  
**石川県地域連携薬剤師共育プログラム、第8次医療計画**
- ③ **R6 診療報酬改定「薬剤業務向上加算」新設**  
**総合的な研修(委員会、指導体制、WEBでの公表)**  
**都道府県、出向先と連携して地域病院に出向**
- ④ **病院薬剤師が大活躍する未来像**

# 「次期診療報酬改定における社会保障・税一体改革関連の基本的な考え方」(概要)

(平成25年9月6日 社会保障審議会 医療保険部会・医療部会)

## 基本的な考え方

### <現在の姿>



### <高度急性期・一般急性期>

- 病床の機能の明確化と機能に合わせた評価
  - ・平均在院日数の短縮
  - ・長期入院患者の評価の適正化
  - ・重症度・看護必要度の見直し
  - ・入院早期からのリハビリの推進 等

### <回復期(亜急性期入院医療管理料等)>

- 急性期を脱した患者の受け皿となる病床の整備
  - ・急性期病床からの受入れ、在宅・生活復帰支援、在宅患者の急変時の受入れなど病床機能を明確化した上で評価 等

### <長期療養>

- 長期療養患者の受け皿の確保

### <その他>

- 医療資源の少ない地域の実情に配慮した評価
- 有床診療所の機能に応じた評価

### <外来医療>

- 外来の機能分化の推進
  - ・主治医機能の評価 等

### <在宅医療>

- 質の高い在宅医療の提供の推進
  - ・在宅療養支援診療所・病院の機能強化 等

### <2025年(平成37年)の姿>



外来医療

在宅医療

# 7. 平成2年度と令和4年度における国の一般会計歳入歳出の比較

特例公債の発行から脱却することのできた平成2年度予算と比較すると、令和4年度予算では、社会保障関係費が大幅に増え、特例公債でまかっています。

(単位：兆円)

【平成2(1990)年度当初予算】



一般歳出



+41.4

+1.0

+24.7

+0.6

+10.1



一般歳出



【令和4(2022)年度予算】

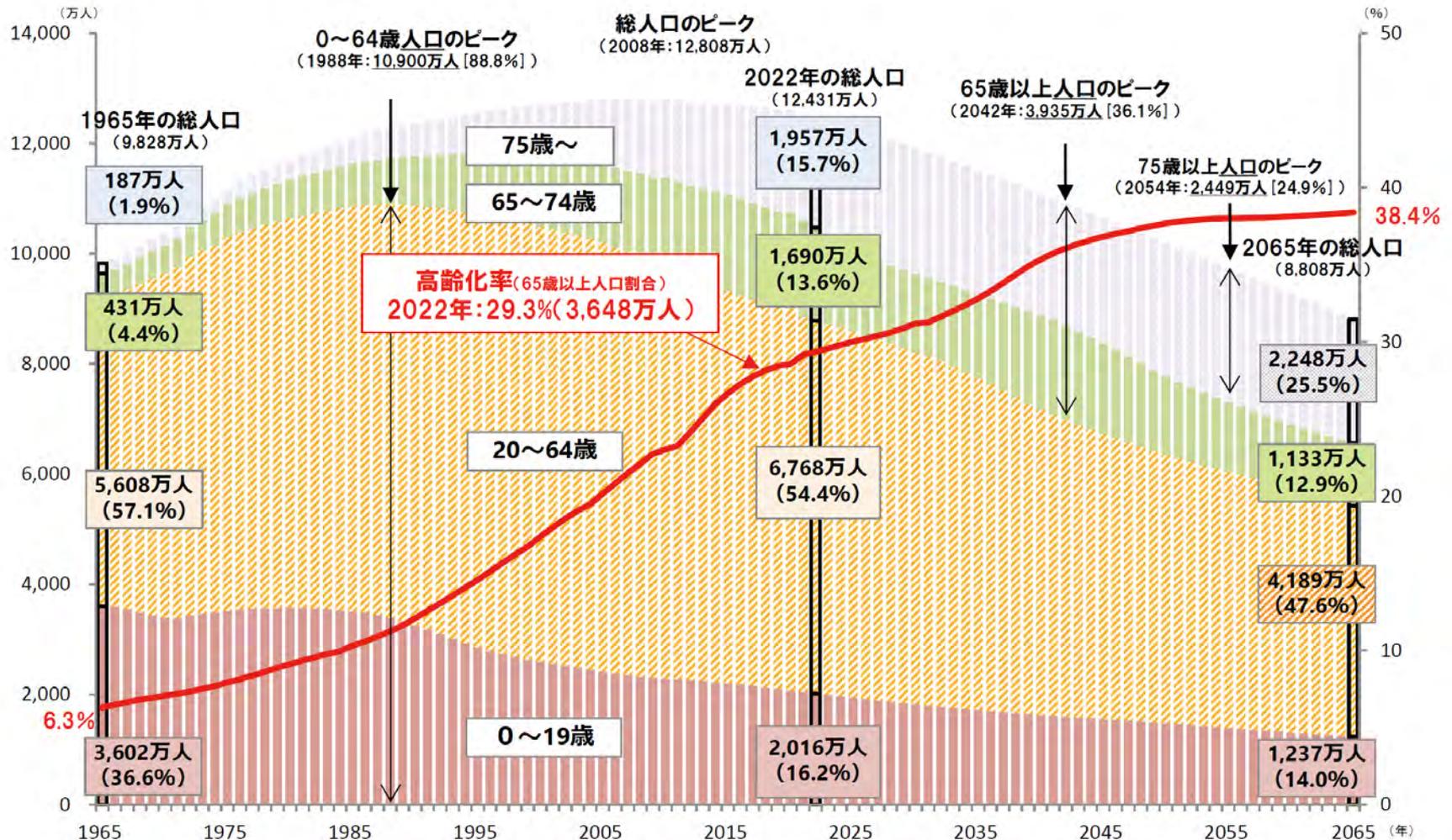
(注)括弧内は一般会計歳出に占める社会保障関係費の割合。

出典：財務省ウェブサイト「日本の財務関係資料(令和4年4月)」p.8 ダウンロード日：2024.10.22

[https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal\\_condition/related\\_data/202204\\_00.pdf](https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202204_00.pdf)

2025年以降も、他国に類を見ない速度で高齢化と少子化が進展し、人口が減少していく見通しです。

## 少子高齢化の進行



(出所) 総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年4月推計)」(出生中位・死亡中位仮定)

(注) カッコ書きの計数は構成比

出典: 財務省ウェブサイト「日本の財務関係資料(令和4年4月)」p.29 ダウンロード日: 2024.10.22

[https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal\\_condition/related\\_data/202204\\_00.pdf](https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202204_00.pdf)

「病床機能報告」(自己申告)による現在の病床数と、2025年の必要病床数(参考値)

県全体

病床機能報告 (H26.7時点)  
(15,285床)

①高度急性期 (2,218床)

②急性期 (6,878床)

③回復期 (1,022床)

④慢性期 (5,167床)

2025年の  
必要病床数(参考値)  
(11,900床)

①高度急性期 (1,226床)

②急性期 (3,929床)

③回復期 (3,695床)

④慢性期 (3,050床)

新たな施設類型など

在宅医療等 (18,600人程度) (注)

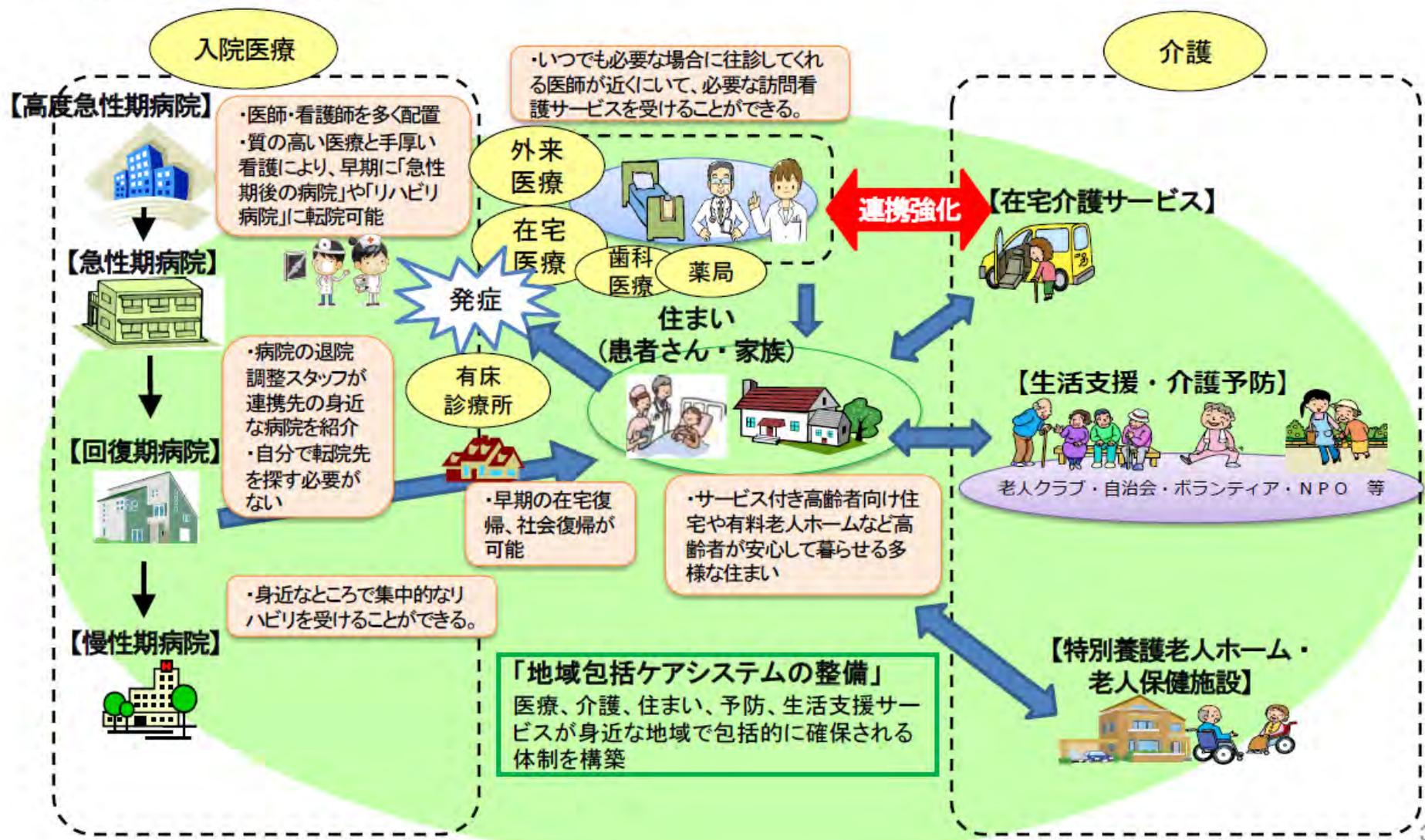
(注)在宅医療等とは、居宅のほか、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホームなどで医療(訪問診療等)を受ける方及び介護老人保健施設の入居者のことをいう。また、現在、国において検討されている介護療養病床等に代わる新たな施設類型の入所者についても、在宅医療等に含める。

【留意点】

「病床機能報告」と「必要病床数」では病床機能を区分する基準が異なっており、「病床機能報告」は、医療機関の自主的な判断に基づく区分であるのに対し、必要病床数はレセプトデータを基とした客観的な区分となっている。

# 将来の目指すべき姿

○医療・介護に携わる多職種の積極的な関与のもと、患者・利用者の視点に立った医療・介護サービス提供体制の構築を目指す。



# 医療スタッフの協働・連携の在り方 に関する議論の経過

平成21年8月～22年3月 『チーム医療の推進に関する検討会』

平成22年4月30日 医政発0430第1号 医政局長通知

「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」

平成26年6月18日成立、25日公布

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係  
法律の整備等に関する法律」(医療介護総合確保法)

令和2年12月23日 『医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフ  
ト/シェアの推進に関する検討会』 議論の整理 公表

令和3年9月30日 医政発0930第16号 医政局長通知 「現行制度  
下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について」

# Agenda

- ① **背景・現状認識(2025年/2040年問題)**  
患者と医療者の高齢化、医療介護福祉需給のギャップ。  
タスク・シフト/シェア、薬剤師偏在(地域/機能/規模)  
目的は住民の健康をまもる医療提供体制の確保である
- ② **病院薬剤師の確保と育成の取り組み**  
本院の人材育成プログラム **KUPS** と地域病院への**出向**  
**石川県地域連携薬剤師共育プログラム**、**第8次医療計画**
- ③ **R6 診療報酬改定「薬剤業務向上加算」新設**  
総合的な研修(委員会、指導体制、WEBでの公表)  
都道府県、出向先と連携して地域病院に出向
- ④ **病院薬剤師が大活躍する未来像**

# 金沢大学附属病院 概要 (1867-2024.4)

病床数: 830床、35診療科、19病棟、職員: 約1,850人 (Dr 約500、Ns 約900人)

薬剤師 定員64人 (教員4人、承継定員35人、KUPS薬剤師 21人、非常勤4人)

+ 地域薬学ケア専門薬剤師(薬局) 4人、がん専門薬剤師(他病院)

事務補佐/技術補佐員 4人、薬学系所属の臨床教職員 5人

採用医薬品数 約2,000、院外処方 約90%、薬剤管理指導 約2,000件/月



# 金沢大学附属病院(薬局)創基150年 記念事業 (2017年)

## Vision(2025年の薬剤部の姿)

- ・ 医療資源の再分配が完了後の高度急性期および一般急性期を担う  
フ口集団
- ・ **新たな医療体制を先導する人材の宝庫**であり、そのような人材となることを志す者に開かれた**成長の場**
- ・ 臨床から基礎へ基礎から臨床へ、課題解決の懸け橋となるリバー  
ストラansレーショナル研究を推進する**Pharmacist-Scientist**集団

## Action

1. 薬剤部ビジョンリーダーチーム(Vチーム)の発足
2. 新たな人材育成システム(**金沢大学薬剤師スタンダード**)の開発
3. 記念事業の計画と実行(記念誌の編纂、ロゴマークの策定、記念祝  
賀会の開催、薬学創立150周年記念事業への支援)

# 実務実習（金沢大学薬学類）で育成したい人材

多角的な視野をもち、  
薬物療法による有効性・安全性の向上を通して、  
主導的立場で医療の進歩に貢献できる人材

## 本実習の特徴

- 項目ごとに適切な環境で学ぶ
- シチュエーションごとに段階的に学ぶ
- 病院-薬局間連携の重要性を体験で理解する
- 複数施設で実習を行うことで、多角的な判断力を身につける

**実習 1 (4週)**

処方解析

服薬指導

調剤

**実習 2 (11週)**

チーム医療への参加

検査値・薬歴 → 評価	処方提案
無菌調製	多職種への DI提供
TDM	効果・副作用 モニタリング
病院薬剤部 機能	急性期医療

実習1で身につけた能力

**実習 3・4 (6+1週)**

地域医療への参画

セルフメディケーション	在宅医療
学校薬剤師	慢性期医療

実習2で身につけた能力

実習1で身につけた能力



# Kanazawa University Pharmacist Standard

KUPSとは「**薬剤師の幅広い活動領域において高いレベルでバランスが取れて優れている薬剤師**」であり、県内外から高い評価を受け渴望される優れた人材のブランドとなるべき基準です。

研修項目ごとの到達レベル（10段階）とKUBP、KUSP、KUAPとの関係は以下の通りです。

- |    |                            |      |
|----|----------------------------|------|
| 0  | 全くできていない                   |      |
| 1  | 実務実習途上の学生                  |      |
| 2  | 学部卒業の最低要件レベル(新カリキュラムのレベル2) |      |
| 3  | 基本的な業務を指導者のもとで適切に行うことができる  | KUBP |
| 4  | 初期研修(2年間)修了レベル             |      |
| 5  | 金沢大学附属病院の基準となる薬剤師のレベル      | KUSP |
| 6  |                            |      |
| 7  | 主任が目指すべきレベル                |      |
| 8  |                            | KUAP |
| 9  | 副部長が目指すべきレベル               |      |
| 10 | 国内最高位                      |      |

# 金沢大学病院薬剤部

## 卒後5年間の人材育成プログラム**KUPS**

### 【目的】

地域を俯瞰的にとらえ機能の異なる施設間連携と協働を強化した今後の医療を先導する薬剤師ロールモデルの育成

### 【初期研修】(1～2年目)

**中央部門**: 調剤、製剤、混注、手術室、TDM、DI、RM、、  
**病棟サブ**: 2年で4部署(内科系、外科系、ケモ、代謝系)

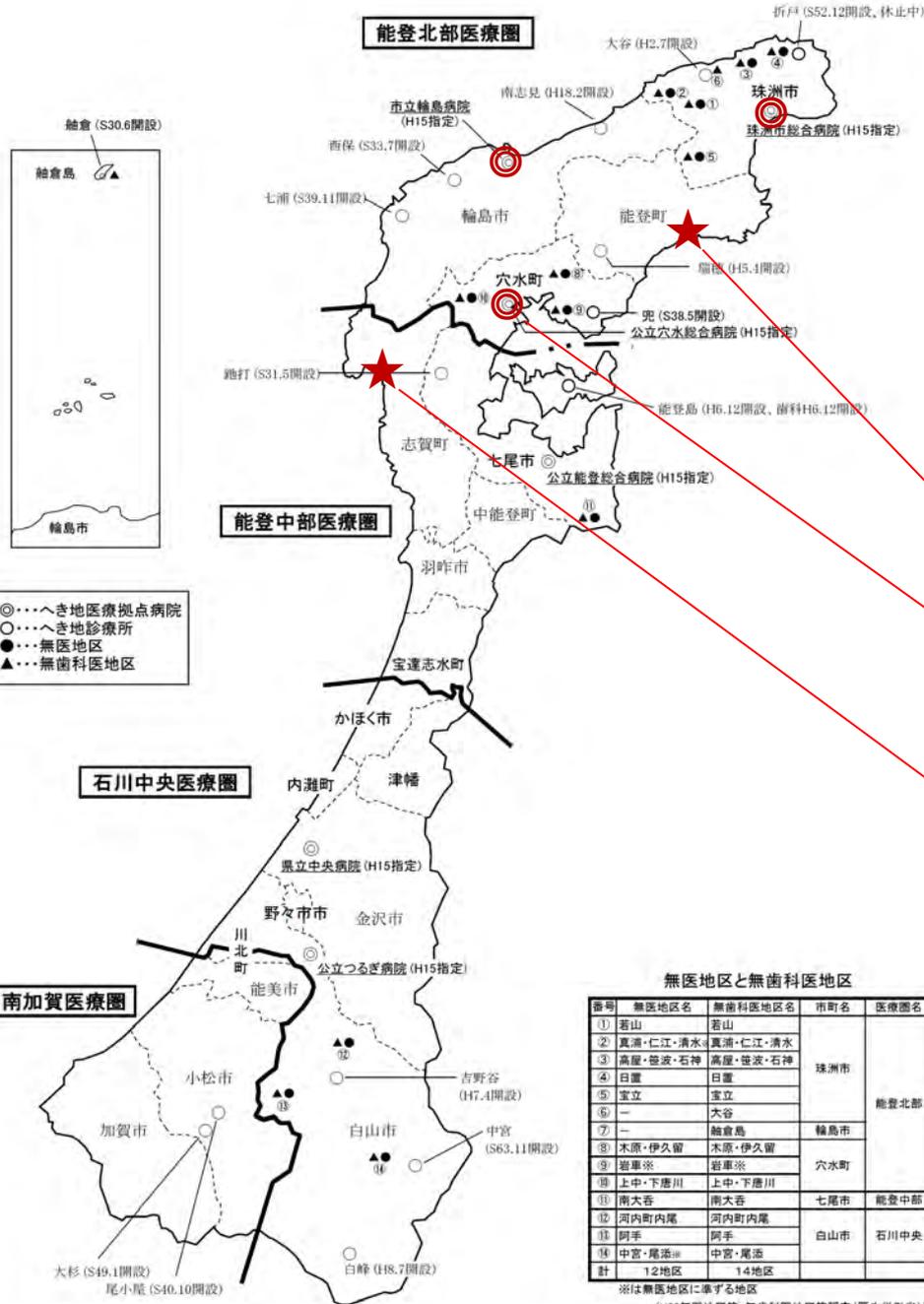
### 【後期研修】(3～5年目)

**病棟主担当**、外来ケモ室、治験部門。

専門薬剤師、認定薬剤師等の**専門領域**を複数目指す。  
課題研究、科研費申請、論文執筆、博士課程への接続。

**中小病院**、**薬局研修**、医療連携、地域を俯瞰する。

# 能登北部・能登中部2次医療圏の病院 と薬剤師の状況 (2018年3月末)



病院名 病床数(薬剤数) 状況

(能登北部医療圏)

- 珠洲市総合病院 195 (6)
- 市立輪島病院 199 (5)
- 柳田温泉病院 180 (3)
- 公立宇出津総合病院 120 (3)

公立穴水総合病院 100 (4)

(能登中部医療圏)

町立富来病院 98 (0)

公立能登総合病院 434 (10)

恵寿総合病院 426 (14)

(NHO)七尾病院 214 (2)

七尾松原病院 108 (2)

公立羽咋病院 174 (6)

町立宝達市民病院 70 (3)

無医地区と無歯科医地区

番号	無医地区名	無歯科医地区名	市町名	医療圏名
①	若山	若山	珠洲市	能登北部
②	真浦・仁江・清水	真浦・仁江・清水		
③	高屋・登波・石神	高屋・登波・石神		
④	白雲	白雲		
⑤	宝立	宝立	輪島市	能登北部
⑥	一	大谷		
⑦	一	輪島島	穴水町	能登北部
⑧	木原・伊久留	木原・伊久留		
⑨	岩車※	岩車※		
⑩	上中・下唐川	上中・下唐川	七尾市	能登中部
⑪	南大吾	南大吾		
⑫	河内町内尾	河内町内尾	白山市	石川中央
⑬	阿手	阿手		
⑭	中宮・尾添※	中宮・尾添		
計	12地区	14地区		

※は無医地区に準ずる地区

(H26無医地区等・無歯科医地区等調査(厚生労働省))

※赤字は陳情を受けた病院

# 富来病院に出向した目的

- 課題の抽出
- 地域連携、薬薬連携のモデルを作る
- 学んだことを大学病院での教育等に活かす

# 富来病院での主な取り組み

- 多職種による**入院患者薬剤管理プロトコル**(処方仮入力の院内ルール)の作成
- 患者服薬カートを導入(1日配薬から1週間配薬に変更)
- 周術期の薬物療法(**抗菌薬、鎮痛薬**)の見直し
- 介護医療院業務の確立(患者一覧、看護師とお薬ミーティング、カンファランスで主治医に提案、処方仮入力、薬剤変更後の患者確認)
- **薬剤師連携会議**(院長、病院薬剤師、補佐員、薬局薬剤師が参加)
- 富来病院**関連薬局ML**の開設、**薬剤管理サマリ**の提供
- **地域での講演会**(患者・介護者向け、ケアマネ事例検討会、地域ケーブルテレビで薬剤師業務、連携、ポリファーマシー、お薬手帳等のPR)
- **病院経営への貢献**(採用品目の削減、後発品への切替え、薬剤管理指導の完全実施、病棟加算、薬剤管理SPD導入、薬剤廃棄の削減)

# 能登北部・能登中部2次医療圏の病院と薬剤師の状況 (2020年度)



病院名 病床数(薬剤数) 状況

(能登北部医療圏)

珠洲市総合病院	156 (5)	
市立輪島病院	199 (6)	
柳田温泉病院	180 (3)	
公立宇出津総合病院	100 (4)	常勤?

公立穴水総合病院 100 (3) 常勤?

(能登中部医療圏)

町立富来病院 98 (2) 常勤1名

2018年11月から2020年3月まで本院薬剤師1名が出向

公立能登総合病院 434 (10)

恵寿総合病院 426 (14)

(NHO)七尾病院 214 (2)

七尾松原病院 108 (2)

公立羽咋病院 174 (6)

町立宝達市民病院 70 (3)

※赤字は陳情を受けた病院

無医地区と無歯科医地区

番号	無医地区名	無歯科医地区名	市町名	医療圏名
①	若山	若山	珠洲市	能登北部
②	真浦・仁江・清水	真浦・仁江・清水		
③	高屋・碓波・石神	高屋・碓波・石神		
④	日置	日置		
⑤	宝立	宝立	輪島市	能登北部
⑥	大谷	大谷		
⑦	一	輪島島	穴水町	能登中部
⑧	木原・伊久留	木原・伊久留		
⑨	岩車※	岩車※	上中・下唐川	能登中部
⑩	上中・下唐川	上中・下唐川		
⑪	南大谷	南大谷	七尾市	能登中部
⑫	河内町内尾	河内町内尾	白山市	石川中央
⑬	阿手	阿手		
⑭	中宮・尾浜※	中宮・尾浜※	中宮	石川中央
計	12地区	14地区		

※は無医地区に隣する地区

(H26無医地区等・無歯科医地区等調査(厚生労働省))

# 石川県病薬の将来ビジョン

(2021年5月1日 県病薬総会 会長講演)

1. 全会員が病薬事業に主体的に関わっている
2. 超高齢社会において持続可能な地域完結型医療体制に大いに貢献している
3. **病院間連携、多職種連携、薬薬連携**で互いに支えあっている(今すぐにでも必要)
4. DXに対応している(まもなく必要になる)
5. 薬剤師の偏在への対応や人材育成を**他力本願にせず、自分たちの問題として行動している**(時間はかかるが)

## 地域連携・人材育成のアクション

1. 地域連携員会の活動強化(人事交流視野に医療圏の状況把握も)
2. 臨床実習委員会の改組(地域医療動向、人材育成/ノウハウの共有)

# 石川県医療計画 中間評価・見直し

令和4年4月  
石川県

## 3. 見直しの内容

- ・がん分野において、熟練した技術や知識を有する看護師および薬剤師の数を把握するため、「がん薬物療法看護認定看護師数」、「がん放射線療法看護認定看護師数」、「緩和ケア認定看護師数」「がん専門薬剤師」「がん指導薬剤師」「外来がん治療認定薬剤師」「緩和薬物療法認定薬剤師」を現状把握の指標として追加する。

### ■ 現状把握に関する指標

	予防・早期発見	治療	療養支援
ストラクチャー指標 (S)	禁煙外来を行っている医療機関数		末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数
		がん診療連携拠点病院数	麻薬小売業免許取得薬局数
		がんリハビリテーション実施医療機関数	外来緩和ケア実施医療機関数
		がん薬物療法看護認定看護師数	緩和ケアチームのある医療機関数
		がん放射線療法看護認定看護師数	緩和ケア病棟を有する病院数・病床数
		がん専門薬剤師	緩和ケア認定看護師数
		がん指導薬剤師	緩和薬物療法認定薬剤師
	外来がん治療認定薬剤師		
プロセス指標 (P)	喫煙率	悪性腫瘍手術の実施件数	がん患者指導の実施件数
	がん検診受診率	放射線治療の実施件数	
	ニコチン依存症管理料を算定する患者数(診療報酬ごと)	外来化学療法の実施件数	入院緩和ケアの実施件数
	ハイリスク飲酒者の割合	がんリハビリテーションの実施件数	外来緩和ケアの実施件数
	運動習慣のある者の割合	地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等の実施件数	がん性疼痛緩和の実施件数
	野菜と果物の摂取量		在宅がん医療総合診療科の算定件数
	食塩摂取量	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等の実施件数	
	公費肝炎検査実施数	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	
	公費肝炎治療開始者数	術中迅速病理組織標本の作製件数	
	病理組織標本の作製件数		
アウトカム指標 (O)	年齢調整罹患率		がん患者の在宅死亡割合
	罹患者数	がん患者の死亡者数	
		がん患者の年齢調整死亡率	

# 2病院目：宇出津総合病院 出向 2022.4～

- ・ 退院時薬剤情報提供（退院時薬剤情報管理指導料、退院時情報連携加算）開始
- ・ 事前合意プロトコル(院外処方箋)の運用開始
- ・ 残薬調整時の疑義照会(問合せ)プロトコル
- ・ 化学療法や抗菌薬、腎機能低下患者の薬剤減量
- ・ ICTラウンドや褥瘡患者の評価
- ・ 退院時指導についての薬局アンケートを行い学術研修会で発表



堀薬剤師  
(当時5年目)

## 出向して良かったこと (本人談)

- ・ 退院時指導や事前合意プロトコルの運用を通して、薬薬連携を経験できた。
- ・ 症例サマリの作成など専門資格申請のための準備
- ・ 久しぶりの一人暮らしを満喫できた、能登北部を満喫できた
- ・ テニスが上達した(特にバックハンド)



# 石川県の病院薬剤師出向モデル構築のあゆみ

- 2017 金沢大学附属病院薬剤部 創基150年記念 人材育成モデルKUPS開始  
本学関連病院長会議で薬剤師派遣の要望、病院長と相談、県との意見交換
- 2018 町立富来病院で唯一の常勤薬剤師が退職、本院の薬剤師が出向  
(目的:課題の抽出、連携モデル、教育プログラムの構築)
- 2021 県病薬 会長講演で将来ビジョン、地域連携推進委員会、薬剤師確保WG  
石川県第7次医療計画 中間見直し(ストラクチャー指標に 専門薬剤師数を)
- 2022.4 公立宇出津総合病院(2病院目)への本院薬剤師の出向開始  
病院長との相談、地元新聞、テレビ、SNS等で薬剤師確保のPR
- 5 知事、県議に陳情(薬剤師偏在 現状説明と対策の提案)
- 6 石川県議会 一般質問で知事に薬剤師偏在対策を問う  
県健康福祉部 病院薬剤師に関する調査
- 7 県担当者との意見交換(事業スキームについて)
- 11 県主催プログラム準備会(県、県薬、県病薬、大学、能登病院の担当者)
- 2023.3 石川県議会 採決、同日夕方に記者会見(県、県薬 共催)
- 4 病院間マッチングの協議(プログラムの公募に向けた課題について)
- 5 石川県共育プログラム枠での薬剤師募集開始

# 石川県での薬剤師確保のためのアクション

4月20日 北國新聞 1面

薬剤師確保、金大が「特効薬」 宇出津病院に初出向

4月22日 石川テレビ ドクター教えて【テレビカメラ初潜入】病院薬剤師の仕事とは？

「病院薬剤師の仕事」、「医薬分業」、「トレーシングレポート」

<https://www.youtube.com/watch?v=aHs5DgJR2g&list=PL9e16ZfalyPxu00a73vEdGgeuGILtFccT&index=3>

5月2日 県知事に陳情

①奨学金返済免除、②地域連携薬剤師枠の設定、③薬学部地域入学枠

5月5日 石川テレビ ドクター教えて 能登の”病院薬剤師不足”

<https://www.youtube.com/watch?v=h62E3Zxyp9U&list=PL9e16ZfalyPxu00a73vEdGgeuGILtFccT&index=2>

6月1日 石川テレビ 石川県議会 紐野議員 質問

[https://youtu.be/fthlZu\\_dzUY?list=PL9e16ZfalyPxu00a73vEdGgeuGILtFccT&t=1](https://youtu.be/fthlZu_dzUY?list=PL9e16ZfalyPxu00a73vEdGgeuGILtFccT&t=1)

6月6日 薬事日報 1面

【石川県】県内薬学部に「地域枠」要望-能登の薬剤師不足が深刻

# 石川県の薬剤師の地域偏在問題 現状と対応策について

(2022.5.2 石川県薬剤師会  
知事への陳情資料)

## 金沢大学附属病院薬剤部に陳情に訪れた首長、病院長等【表1】

志賀町	小泉 町長	町立富来病院	菊池病院長	2018-2019年に1名出向
能登町	大森 町長	公立宇出津総合病院	長谷川病院長	本年4月から1名出向中
穴水町	-	公立穴水総合病院	島中病院長	対応検討中
金沢市	相川 副市長	金沢市立病院	高田病院管理者	歴代薬局長を転出
石川県	-	石川県立中央病院	岡田病院長	2名が人事異動

- ・石川県の薬剤師の確保が困難な状況が続いている。
- ・特に病院薬剤師の確保が深刻で、2018年に町立富来病院で薬剤師が不在となり、医薬品供給が危機に瀕した。
- ・志賀町、能登町、金沢市の首長、副市長、県立中央病院等の病院長が、金沢大学附属病院薬剤部に陳情に来る事態(表1)となっている。

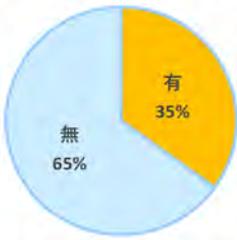
- ・背景に6年制卒業薬剤師の給与水準とキャリアパスの問題がある【図1】。
- ・他にも県内の多くの病院長、薬剤部長が薬剤師不足を訴えている。また、薬局薬剤師についても、学校薬剤師の確保等が困難な状況がある。

- ・喫緊の対応として、金沢大学病院の薬剤師が富来病院、宇出津病院に出向、県立中央病院に人事異動するなどして、医療を支えている(北國新聞4/20朝刊1面、石川テレビでも放送予定)。

- ・石川県として、中長期的に安定した人材の確保の観点から、大学病院や県立中央病院等の薬剤部に地域の病院や薬局と連携して地域医療を支える薬剤師枠の創設と医学部と同様な地域入学枠を薬学部にも設定し地域医療を支えることが必要【図2】

## 全国の薬学生(5・6年生)へのアンケート調査【図1】

### 奨学金借入状況 (2302人)



### 内定先初年度給与水準

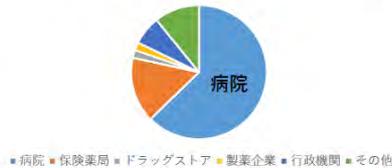
300万円未満	158
300～400万円	518
400～500万円	235
500～600万円	63
600～700万円	9
700～800万円	1
800～900万円	2
900～1000万円	0
1000万円以上	1

(n=987)

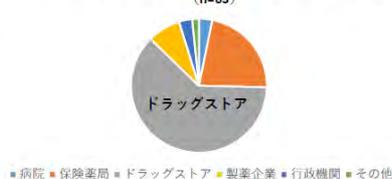
総額1000万円以上:142人

(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業  
安原、安藤、栗原、崔、豊見、中村、長谷川、令和3年度調査)

### 給与300万円未満の業種分類 (n=158)



### 給与500～600万円の業種分類 (n=63)



- ・薬学生の約3人に1人が奨学金を借入れており、その内の5.7人に1人は1,000万円以上の借入れを抱えている。
- ・卒業後、奨学金返済が始まるため、給与水準の低い病院薬剤師への就職は避けられる傾向にある。

## 対応策(提案)【図2】

- 1 地域医療介護総合確保基金を用いた**奨学金返済免除制度**(厚労省医政局 R3.12.24)
- 2 **地域連携薬剤師枠(仮称)**を金沢大学附属病院や県立中央病院等の薬剤部に設置し、**基幹病院と地域が連携(出向)して医療を支える持続的な体制を構築する**
- 3 **地域枠入学生枠**を金沢大学薬学類や北陸大学薬学部を設定し学生の地域定着を促す

# 地域連携薬剤師確保対策事業

## ▶目的 能登地区をはじめとした病院薬剤師の確保

## ▶現状 ・能登地区の病院では薬剤師が不足・高齢化しており、将来的な業務継続が危機

- 一部の病院では、薬剤師の平均年齢が60歳もしくはそれ以上となっている
- 修学資金制度など独自の取組を行う病院もあるが、人材獲得につなげていない

・薬学生の就職先選定理由 1位:業務内容・やりがい (R3厚労省調査)

・学生の約3割が修学資金を利用 (利用割合: 34%、借入総額中央値: 360万円)

- 返済のために給与が高い薬局を選ぶ傾向

## ▶方向性 ①やりがい・キャリアアップ(資格取得)が見込める環境整備 ②修学資金返済に対する支援

## ▶対応① 新地域病院への出向を組み込んだ人材育成プログラム(共育プログラム)の創設

<例>



(資格※取得環境を提供) (地域密着型医療を提供)

※がん専門薬剤師、腎臓病専門薬剤師、妊婦・授乳婦専門薬剤師など、地域医療計画上特に必要とされる分野に対応した認定資格

基幹病院: 資格取得にあたり、必要な経験を得ることができる病院

地域病院: 慢性的な薬剤師不足で、かつ資格を持つ薬剤師を必要としている病院

## ▶対応② 新修学資金返済支援制度の創設 (プログラム満了を条件として、在学中に借り入れた修学資金の返済を支援)

- 卒業前4年間の借入額に対して最大2,400千円/人をプログラム満了時に一括支援  
開始5年間で概ね20名程度を想定(年4人程度×5年)

## ▶関係機関の役割

- 大学** : 学生へのプログラムのPR、病院薬剤師の求人情報発信
- 基幹病院** : 参加者募集、高度急性期医療の経験、資格取得の機会
- 地域病院** : 参加者募集、地域密着型医療の経験
- 薬剤師会** : 病院間のマッチングや資格取得に関する助言
- 県** : 事業全体の調整、定着状況等の調査

## ▶今後のスケジュール

- R5年3月** 全病院へ施行通知発出
- 4月~** 参加病院募集、参加病院の登録受付開始  
関係者間で検討会(PR法の検討、病院間のマッチング条件など)  
基幹・地域病院の指定、病院間のマッチング、参加者募集
- R6年4月~** プログラム開始(第1期生着任予定)

## 地域医療に貢献する病院薬剤師の確保と育成を目指す

出典: 「地域連携薬剤師確保対策事業について ~能登地区をはじめとした地域の病院薬剤師確保に向けた取組~」

(石川県令和5年度予算の議会承認を受けて健康福祉部と石川県薬剤師会の共同記者会見資料 2023.3.16 石川県庁)

# 関係機関とその役割



石川県

- ・参加病院・参加薬剤師の指定
- ・修学資金返済支援の実施
- ・定着状況等の調査

事業の総合調整



県薬剤師会  
県病院薬剤師会

- ・病院間のマッチングや資格取得等に関する助言
- ・病院薬剤師確保に関する情報発信
- ・参加薬剤師の募集支援

基幹病院



- ・専門資格の取得環境を提供

就業条件、費用負担等調整

薬剤師  
(受講生)

基幹病院・地域病院に就業し  
資格取得を目指す

地域病院



- ・地域医療の提供
- ・薬剤師定着を目指した環境整備  
↓ 定着した場合  
質の高い医療を地域に提供

大学

薬学生

- ・薬学生へのプログラム紹介
- ・病院薬剤師の求人情報発信

同じ分類から探す

> 健康福祉部 薬事衛生課

- > 令和6年(2024年)能登半島地震にかかる無料入浴支援の実施について
- > 食中毒発生状況
- > 令和5年度石川県食品衛生監視指導計画について
- > 薬事衛生課の自動販売機設置に関する公募情報
- > 令和6年能登半島地震に係る薬局の開局状況について

+ もっと見る

イベントカレンダー



施設案内

県民の声  
(ご意見・ご提言)

## 病院薬剤師の確保事業

石川県では、県内の病院に勤務する薬剤師の確保のため、「石川県地域連携薬剤師共育プログラム」及び「石川県薬剤師修学資金返済支援事業」を令和5年4月1日より実施します。

 [地域医療介護総合確保基金を活用した薬剤師修学資金貸与事業の取扱いについて \(PDF: 124KB\)](#)

### 石川県地域連携薬剤師共育プログラム

石川県において薬剤師が不足する地域・医療機関等における薬剤師の確保と、対象薬剤師の能力の開発・向上の両立のため、複数の病院への就業により認定・専門資格の取得に必要な経験を得ることができるプログラムです。

-  [石川県地域連携薬剤師共育プログラム実施要綱・要領 \(PDF: 467KB\)](#)
-  [様式集 \(ワード: 26KB\)](#)
-  [チェックリスト \(エクセル: 38KB\)](#)
-  [Q&A \(修学資金返済支援事業部分を含む\) \(PDF: 644KB\)](#)
-  [プログラムのパンフレットについて \(修学資金返済支援事業部分を含む\) \(PDF: 805KB\)](#)
-  [プログラムの概要について \(修学資金返済支援事業部分を含む\) \(PDF: 1,167KB\)](#)

### 共育病院の指定状況 (R6年3月1日現在) ※募集案内はリンクをクリック

基幹病院	地域病院
<ul style="list-style-type: none"><li><a href="#">国立大学法人金沢大学附属病院 (外部リンク)</a></li><li><a href="#">金沢医科大学病院 (外部リンク)</a></li><li><a href="#">独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院 (外部リンク)</a></li><li><a href="#">石川県済生会金沢病院 (外部リンク)</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><a href="#">公立宇出津総合病院 (外部リンク)</a></li><li><a href="#">公立穴水総合病院 (外部リンク)</a></li></ul>

別表2 (指定する病院の要件)

	基幹病院	地域病院
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ a～c 全てを満たす</li> <li>a. 薬剤師数&gt;法定基準員数+2</li> <li>b. 薬剤師数&gt;病棟数</li> <li>c. 許可病床数≥200床</li> </ul> <p>※薬剤師数は、常勤換算後の薬剤師数をいう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ a～c の全部又は一部を満たさない</li> </ul>
2	(一般病床を有する病院に限り適用) 院外処方率≥70%	※過去3カ月のうち、最低月の値
3	後発品置換率(入院にかかるもの)≥60%	※過去3カ月のうち、最低月の値
4	許可病床数50又はその端数を増すごとに、薬局内で勤務する非薬剤師を5人・時間/週以上配置している(100床以下の場合は10人・時間/週以上)	
5	業務効率の向上に関する設備が複数導入されている	
6	プログラム薬剤師を教育・研修できる体制が整っている(養成機関の指定・教育者・設備・症例数等)	地域医療の現状について教育できる
7	—	病棟薬剤師業務の強化に取り組んでいる(又は、その予定である)
8	—	医療系資格の取得(更新)に対する支援がある
9	—	<p>(d～kの中から、薬剤師関連で4項目以上該当。いずれも前年4月以降に実施したものに限る。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>d. 病院ホームページでの募集案内を掲載している</li> <li>e. 職業紹介所(WEB)で募集している(3紹介所以上)</li> <li>f. 新聞や情報誌に求人広告を掲載している(年計2000部以上)</li> <li>g. 就職フェア(社会人・大学生向け)へ出展している</li> <li>h. 50以上の薬学部への求人情報の提供(金沢大学と北陸大学を含むこと)</li> <li>i. 修学資金に関する独自制度(貸与・返済支援等)を設けている</li> <li>j. 薬学部6年生に対して4月末日までに採用エントリーを開始している(通年募集可)</li> <li>k. インターンシップ・職場見学(リモート可)の実績が1名以上ある</li> </ul>
10	—	<p>(l～qの中から、薬剤師関連で1項目以上該当。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>l. 初任給調整手当又は資格手当(これらに相当するものを含む)の設定がある</li> <li>m. 完全週休2日制</li> <li>n. 前年度における正規職員の年次有給休暇の平均取得日数が10日以上</li> <li>o. 職員住宅(社宅)・独身寮の確保</li> <li>p. 70歳までの就業機会の確保</li> <li>q. 院内保育所の設置</li> </ul>

# 第8次医療計画 病院薬剤師確保 関係通知

## ◆厚生労働省 (R5.3.31)

「医療提供体制確保に関する**基本指針**(大臣告示)」

「**医療計画作成指針**(局長通知)」、「**疾病・事業及び在宅医療に係る医療提供体制構築に係る指針**(課長通知)」

- ・ **病院薬剤師の不足が喫緊の課題**
- ・ **都道府県の薬務主管課、医務主管課等の連携**
- ・ **病院薬剤師の確保は病院薬剤師会と連携**

## ◆厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 (R5.6.9)

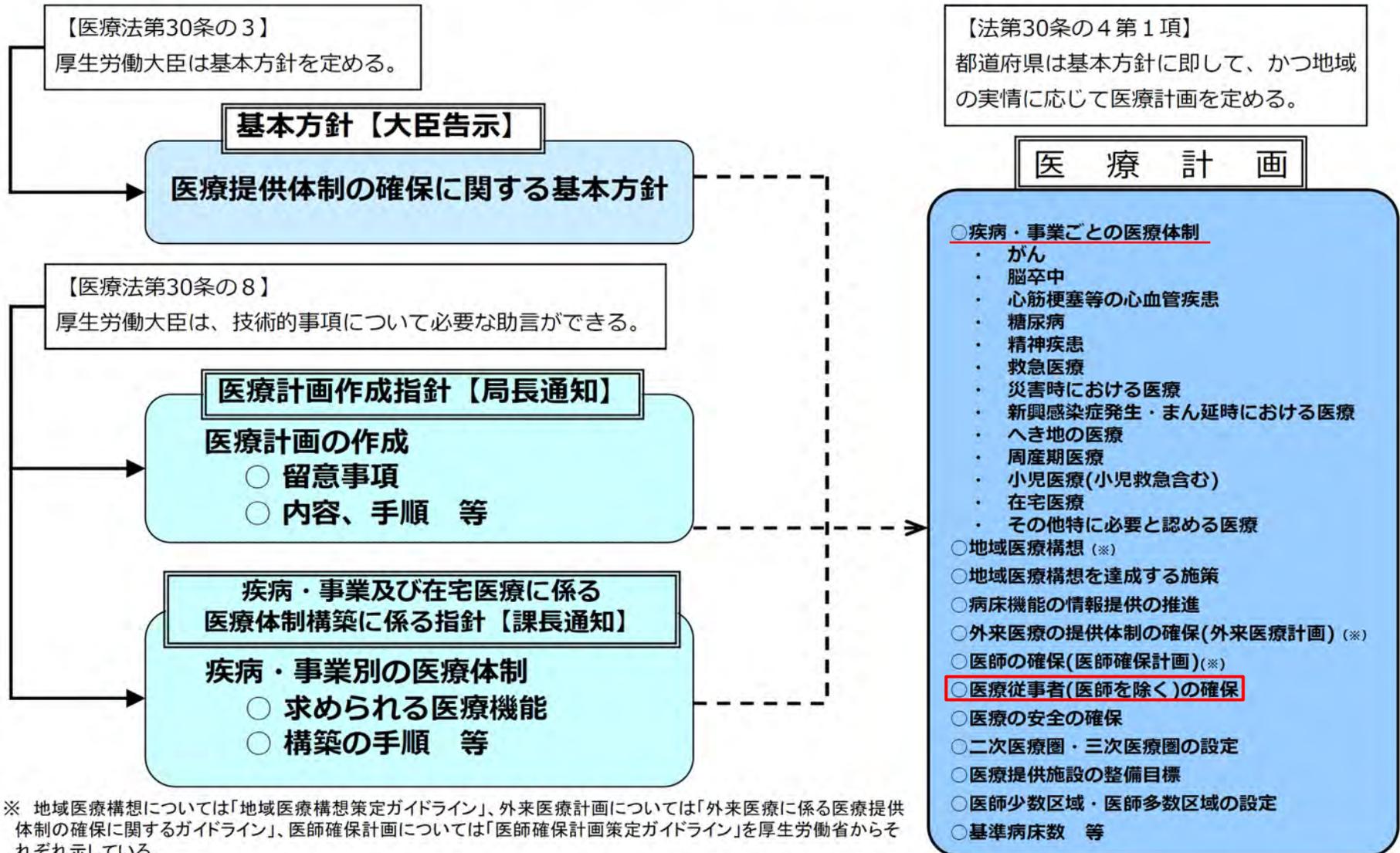
「**薬剤師確保計画ガイドライン**について」

「**薬剤師偏在指標**等について」

## ◆厚生労働省医薬局総務課、医政局総務課 (R6.3.26)

「**薬剤師臨床研修ガイドライン**について」

# 医療計画の策定に係る指針等の全体像



※ 地域医療構想については「地域医療構想策定ガイドライン」、外来医療計画については「外来医療に係る医療提供体制の確保に関するガイドライン」、医師確保計画については「医師確保計画策定ガイドライン」を厚生労働省からそれぞれ示している。

## 7 医師の確保及び医療従事者（医師を除く。）の確保

### (2) 医師以外の医療従事者の確保について

イ 薬剤師については、**地域医療における薬物療法の有効性・安全性の確保や公衆衛生の向上及び増進等に資するため、調剤等の業務に加え、病院薬剤師にあっては病棟薬剤業務やチーム医療等、薬局薬剤師にあっては在宅医療や高度な薬学的管理を行う機能等を中心とした業務・役割の更なる充実が求められている。**薬剤師の従事先には業態の偏在や地域偏在があり、特に**病院薬剤師の不足が喫緊の課題**となっていることも踏まえ、必要な薬剤師の確保を図るため、**病院及び薬局それぞれにおける薬剤師の就労状況を把握し、地域医療介護総合確保基金（修学資金貸与、医療機関への薬剤師派遣等）の積極的な活用を含め、地域の実情に応じた薬剤師の確保策について、可能な限り具体的に記載すること。**確保策の検討及び実施に当たっては、**都道府県の薬務主管課及び医務主管課並びに都道府県薬剤師会等の関係団体が連携して取り組むこと。**特に、**病院薬剤師の確保策の検討及び実施については、都道府県病院薬剤師会とも連携の上取り組むこと。**

(以下、略)

## 薬剤師確保策に向けた取り組み

### 【日本病院薬剤師会特別委員会より手引き(ドラフト)の紹介】 プログラム

日時:令和5年3月19日(日) 10時00分～12時10分

(敬称略)

10:00～10:05 開会挨拶

一般社団法人日本病院薬剤師会 会長 武田 泰生

10:05～10:45 「病院薬剤師確保の取組みの手引き」について

病院薬剤師確保策に関する検討特別委員会 委員長 崔 吉道

10:45～11:25 薬剤師確保策について(第8次医療計画も含めて)

厚生労働省医政局地域医療計画課 松下 俊介

厚生労働省医薬・生活衛生局総務課 川上 貴裕

11:25～12:05 質疑応答

12:05～12:10 閉会挨拶

一般社団法人日本病院薬剤師会 副会長 筒井 由佳

# 病院薬剤師確保の取組みの手引き(Ver 2.0)

## 主な改訂事項

- ・目次
- 1. 薬剤師確保のモデル
- 2. 取組みのスケジュール例
- 3. 取組みの具体的なステップ
- 4. 地域の実情に応じた対応モデルの選択に必要な情報
- 5. 第8次医療計画における薬剤師確保の記載状況  
(各都道府県の現状認識、考え方、施策・事業例、数値目標)
- 6. 各都道府県における第8次医療計画策定の協議体制(石川、広島)
- 7. 都道府県と連携した薬剤師不足地域の病院薬剤師確保事例  
(宮城県、石川県、山口県、広島県、長崎県)
- 8. 事後の検証に備えて
- 9. その他の参考となる取組み事例

<関係資料>

# Agenda

- ① 背景・現状認識(2025年/2040年問題)  
患者と医療者の高齢化、医療介護福祉需給のギャップ。  
タスク・シフト/シェア、薬剤師偏在(地域/機能/規模)  
目的は住民の健康をまもる医療提供体制の確保である
- ② 病院薬剤師の確保と育成の取り組み  
本院の人材育成プログラム KUPS と地域病院への出向  
石川県地域連携薬剤師共育プログラム、第8次医療計画
- ③ R6 診療報酬改定「**薬剤業務向上加算**」新設  
**総合的な研修**(委員会、指導体制、WEBでの公表)  
**都道府県、出向先と連携**して地域病院に出向
- ④ 病院薬剤師が大活躍する未来像

# 地域と連携した教育研修体制の事例

- 金沢大学附属病院では、薬剤師の研修の一環として、能登半島北部の医療過疎地域への薬剤師出向により、地域医療を研修する仕組みがある。
- このような仕組みは、出向先の不足した人員を補うだけではなく、病院業務のノウハウを出向先の病院の業務に定着させることで、地域医療の質の向上に寄与する取組となっている。
- また、地域の病院での業務経験を通じて地域医療を俯瞰する広い視野が修得できることは、大学病院の目指す指導的な人材の育成機能の強化につながる。

## ■ 概要と経緯



- 金沢大学附属病院において、医療全体を俯瞰し行動できる人材の育成することを目的として、地域医療を経験するために、薬剤師が不足している地域病院への薬剤師出向を2018年11月から開始した。

(出向先1) 町立富来病院(2018年11月～2020年3月)  
常勤薬剤師が一時的に不在となったので、出向受け入れ。  
(現在は常勤薬剤師が確保されている。)

(出向先2) 公立宇出津総合病院(2022年4月～)  
常勤薬剤師が1名となったため、出向受け入れ。  
(現在、勤務経験3年以上の若手薬剤師が3か月交代で出向。)

出典：金沢大学附属病院薬剤部提供資料を基に医療課で作成

## ■ 町立富来病院での主な対応事例

- ・ 多職種による入院患者薬剤管理プロトコルの作成
- ・ 患者服薬カートを導入(1日配薬から1週間配薬に変更)
- ・ 周術期の薬物療法(抗菌薬、鎮痛薬)の見直し
- ・ 介護医療院における薬剤師業務の確立
- ・ 薬剤師連携会議の発足
- ・ 町立富来病院関連薬局メーリングリストの開設、薬剤管理サマリの提供
- ・ 職員のニーズにあった研修会や、周辺病院も参加する講演会の企画
- ・ 採用医薬品等を整理し、後発品の利用促進及び廃棄医薬品の低減
- ・ 病棟薬剤業務の充実に向けた準備

## ■ 金沢大学附属病院におけるメリット

- ・ 出向経験者のスキルアップ
  - ✓ 地域の実情にあった多職種連携などの経験から、転院先のニーズを理解することにつながり、必要な情報を適切に選別できるようになったことで退院時薬剤指導を工夫するなど、転院・退院先と密な連携をとれるようになった。
- ・ 大学病院として目指す指導的な人材の育成機能の強化
  - ✓ 高齢者に特有の心不全、嚥下障害、感染症などの疾患への対応や、地域での介護、在宅医療、看取りなど、高度急性期施設では直接体験することができない経験を通じて、地域医療を俯瞰する広い視野を修得した人材を育成することにつながる。
- ・ 医療機関同士の情報連携や研修会等の活性化

## 薬剤師の養成強化による病棟薬剤業務の向上

### 薬剤業務向上加算の新設

- 病棟薬剤業務実施加算1（120点/週1回）について、免許取得直後の薬剤師を対象とした病棟業務等に係る総合的な研修体制を有するとともに、都道府県との協力の下で薬剤師が別の医療機関において地域医療に係る業務等を実践的に修得する体制を整備している医療機関が、病棟薬剤業務を実施する場合の加算を新設する。

### **(新)** 薬剤業務向上加算 100点（週1回）



#### [算定要件]

病棟薬剤業務の質の向上を図るための薬剤師の研修体制その他の事項につき別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関に入院している患者であって、病棟薬剤業務実施加算1を算定しているものについて、薬剤業務向上加算として、週1回に限り所定点数に加算する。

#### [主な施設基準]

- (1) **免許取得直後の薬剤師を対象とした病棟業務等に係る総合的な研修が実施されていること**として以下の要件を満たすこと。
  - ア 研修を総括する責任者の配置及び研修の計画、実施等に関して検討するための委員会が設置されている
  - イ 十分な指導能力を有する常勤薬剤師が研修を受ける薬剤師の指導に当たっている
  - ウ 研修を受ける薬剤師の研修内容を定期的に評価・伝達する体制の整備及び研修修了判定が適切に実施されている
  - エ 調剤、病棟薬剤業務、チーム医療、医薬品情報管理等を広く修得できる研修プログラムに基づき研修を実施している
  - オ 研修プログラムを医療機関のウェブサイト等で公開するとともに、定期的に研修の実施状況の評価及び研修プログラムの見直しを実施している
- (2) **都道府県における薬剤師確保の取組を実施する部署と連携して自施設の薬剤師を他の保険医療機関（特別の関係にある保険医療機関を除く。）へ出向を実施させる体制**として、以下の要件を満たすこと。
  - ア 出向先は、薬剤師が不足している地域において病棟業務やチーム医療等の業務の充実が必要な保険医療機関である
  - イ 出向する薬剤師は、概ね3年以上の病院勤務経験を有し、当該保険医療機関において概ね1年以上勤務している常勤の薬剤師である
  - ウ 出向先の保険医療機関及び都道府県における薬剤師確保の取組を担当する部署との協議の上で、出向に関する具体的な計画が策定されている
- (3) 特定機能病院若しくは急性期充実体制加算1、2に係る届出を行っている保険医療機関であること。

# 薬剤業務向上加算の施設基準

## (1) 免許取得直後の薬剤師対象の病棟業務等に係る総合的な研修

- ア 責任者を配置、多職種で構成される委員会
- イ 指導能力を有する常勤薬剤師による指導
- ウ 受講薬剤師の定期的な評価、フィードバック、修了判定
- エ 幅広い研修(調剤、病棟、チーム医療、DI、無菌室、TDM、周術期)
- オ 研修プログラムの公開、定期的な見直し

## (2) 都道府県と協力の下、別の保険医療機関に出向して修得する体制

- ア 薬剤師が不足している地域の病院の選定
- イ 概ね3年以上の病院経験(在籍1年以上)者が出向し戻って勤務
- ウ 出向先病院、都道府県担当部署と協議し、具体的計画を策定。

## (3) 特定機能病院もしくは急性期体制充実加算1、2の算定病院

# 金沢大学附属病院薬剤部ホームページ



金沢大学附属病院 薬剤部  
Kanazawa University Hospital Pharmacy



HOME

薬剤部紹介

臨床教育

研究・業績

▶ 患者・一般の皆様へ

▶ 保険薬局の方へ

▶ 製薬メーカーの方へ

## 新着情報

▶ 2024.04.10

2025年度金沢大学附属病院薬剤部 常勤薬剤師（新卒者・既卒者）およびの常勤薬剤師（臨床試験コーディネーター重点コース）募集要項をアップしました。採用情報より確認してください。

▶ 2024.03.28

金沢大学附属病院薬剤部 3Daysインターンシップを2024年4月30日から5月2日に開催します。奮ってご応募ください。

▶ 2024.02.14

Nラジで「不足する病院薬剤師 対策は？特集（崔 吉道先生）」が放送されました。

▶ 2024.02.01

2025年度新規採用情報について近日中に公開予定です。

▶ 2024.02.01

嶋田 努先生が金沢大学医薬保健研究域薬学系の教授に就任されました。

▶ 2024.01.08

嶋田 努先生ら13人の論文がJ Pharm Health Care Sciに掲載されました。

▶ 2024.01.03

Huda Jassim Muhammad（修士課程）ら4人の論文がDrug Metab PharmacokinetにWeb掲載されました。

採用情報

職員・大学院生  
募集中!!

▶ 詳細はコチラ

3Days

インターンシップ

参加者募集中!!

石川県地域連携薬剤師  
共育プログラム

石川県  
ホームページ  
Ishikawa Prefecture

礎  
金沢大学附属病院薬剤部  
創基150年記念誌  
1867-2017

<http://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>



## 臨床教育

TOP > 臨床教育 > レジデント型卒後教育プログラム『金沢大学薬剤師スタンダード：KUPS』

### レジデント型卒後教育プログラム『金沢大学薬剤師スタンダード：KUPS』

少子高齢化が進む日本では、全ての世代の人々が安心して持続可能な医療体制とするために病院完結型から地域完結型医療への転換が必要とされる。そのため、病院は高度急性期、急性期、回復期、慢性期など一層の機能分化が進められている。薬剤部としても機能の異なる病院間や地域薬局等との連携と協働を強化した地域包括ケアシステムの中でのロールモデルを構築する必要がある。

金沢大学附属病院薬剤部は、薬剤部規程第3条で患者の診療等に必要医薬品及び治験薬の調剤、製剤及び情報等の収集管理並びに服薬指導等の業務を行い、併せて、臨床薬理学及び医療薬学の教育(研修を含む)及び研究を行うこととしている。つまり、本院の薬剤部は、診療に加え、教育・研究も職務として行うことを特徴とする薬剤部である。

本院薬剤部は2017年に創設150年を迎え、課題解決能力に秀でた学位取得者と大学院生、高度な専門知識と技能をもちリーダーシップを発揮する志をもつメンバーで構成する「薬剤部ビジョンリーダーチーム（Vチーム）」を組織し、これからのあるべき医療体制下での本院薬剤部の将来ビジョンと薬剤師人材の基準「金沢大学薬剤師スタンダード(KUPS)」を策定し、新たな人材育成を開始した。「金沢大学薬剤師スタンダード(KUPS)」は、薬剤師の幅広い活動領域においてバランスが取れて優れている薬剤師の基準で自他共に県内外からも高い評価を受け渴望される優れた薬剤師ブランドとなるものである。

KUPS人材育成システムは5年間の任期付き常勤職員（KUPS薬剤師）としての育成プログラムで、本院薬剤部の将来ビジョンと各個人のキャリアプランと人生設計を踏まえつつ、各個人に秘められた可能性を最大限に引き出すことを目的としている。医師の卒後初期研修にあたる期間（1～2年目）は中央部門を中心に基本的な技術を修得する。1年目の第2四半期から病棟にも出向き、病棟に配置された薬剤師のサポーターとして病棟活動を始める。さらに半年ごとに内科系・外科系病棟、外来化学療法室、先端医療開発センターをローテーションし、最初の2年間で基本的な業務を適切に行えるレベルになることを目指す。さらに、後期研修にあたる期間（3～5年目）は主担当として病棟や外来化学療法室の活動に従事する。

KUPS薬剤師は、診療、教育、研究、専門資格等、社会貢献、コンプライアンスの6つの領域について、スプレッドシートを用いてその状況を把握し、メンターや上司とで面談を重ね、ライフワークバランスを確認し、希望に応じて専門薬剤師、認定薬剤師、学位取得等の支援を受けるとともに、公私に渡る悩みの解決を図りつつ自己実現を目指す。また、機能の異なる施設間(中小病院、地域の保険薬局、PMDA、厚生省、他大学等)との人事交流にも参加することで、病院機能の異なる各施設の状況を熟知し、互いの溝を埋め全体を俯瞰することができる人材となる。

本人材育成プログラムは、宝町に研究室を置く薬学系臨床教員との密な連携のもと、金沢大学医薬保健学域薬学類教育の3つのポリシーに対応した薬学6年制教育の新カリキュラムによる卒前教育とも接続するよう、2025年の医療体制を見据えた薬局病院統合型の実務実習プログラムとも呼応している。

本院薬剤部には、幅広い領域にわたって延べ約70名の指導薬剤師、専門薬剤師、認定薬剤師の認定資格者が所属し、同僚や後輩を育てるノウハウも蓄積している。この素晴らしい人的、知的財産を生かして、地域の各施設で必要としている資格や人材を、おおむね5年間で習得し、再び各施設で活躍してもらいたい。

- KUPSプログラムガイドブック

# Kanazawa University Pharmacist Standard

## プログラムガイドブック (Ver. 2.0)

金沢大学附属病院薬剤部

2024年7月

13. 典型的な KUPS スケジュール

		年間の予定・教育・評価・課題												備考		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	症例サマリー	症例検討会	臨床研究・学会発表
KUPS 1	実施項目	調剤・医薬品管理			調剤・病棟（初回指導、持参薬確認）			調剤・病棟・がん化学療法（外来化学療法センター）							症例検討会参加	臨床研究立案プロセスの理解
	教育・評価・課題	オリエンテーション			自己評価（病棟配属のための情報）	アセスメント・Vチーム確認		自己評価	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント							
KUPS 2	実施項目	調剤・内科系病棟コース（がん化学療法・感染含む） 調剤・外科系病棟コース（がん化学療法・感染含む） +DI・TDM・手術室（周術期）・製剤						調剤・内科系病棟コース（がん化学療法・感染含む） 調剤・外科系病棟コース（がん化学療法・感染含む） +DI・TDM・手術室（周術期）・製剤 治療・臨床研究コース						異なる領域のサマリー2件/年以上	症例検討会参加・発表	臨床研究の立案
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント						自己評価	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント							
KUPS 3	実施項目	病棟・外来化学療法センター・先端医療開発センター						病棟・外来化学療法センター・先端医療開発センター・地域の病院・薬局（在宅・介護含む）						専門薬剤師等による指導のもと、自ら進んで作成	臨床研究を開始	
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					自己評価	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					自己評価			
KUPS 4	実施項目	病棟・外来化学療法センター・先端医療開発センター・地域の病院・薬局（在宅・介護含む）						病棟・外来化学療法センター・先端医療開発センター・地域の病院・薬局（在宅・介護含む）						5年間で30件以上作成	各年毎に1回以上、5年間に5回以上症例報告	5年間に筆頭発表を2回以上実施
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					自己評価	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					自己評価			
KUPS 5	実施項目	病棟・外来化学療法センター・先端医療開発センター・地域の病院・薬局（在宅・介護含む）						病棟・外来化学療法センター・先端医療開発センター・地域の病院・薬局（在宅・介護含む）								
	教育・評価・課題	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					自己評価	アセスメント・Vチーム確認・部長コメント					総合評価			

なお、本プログラムは必要に応じて見直しを行う。

# KUPS 修了認定

## -認定要件-

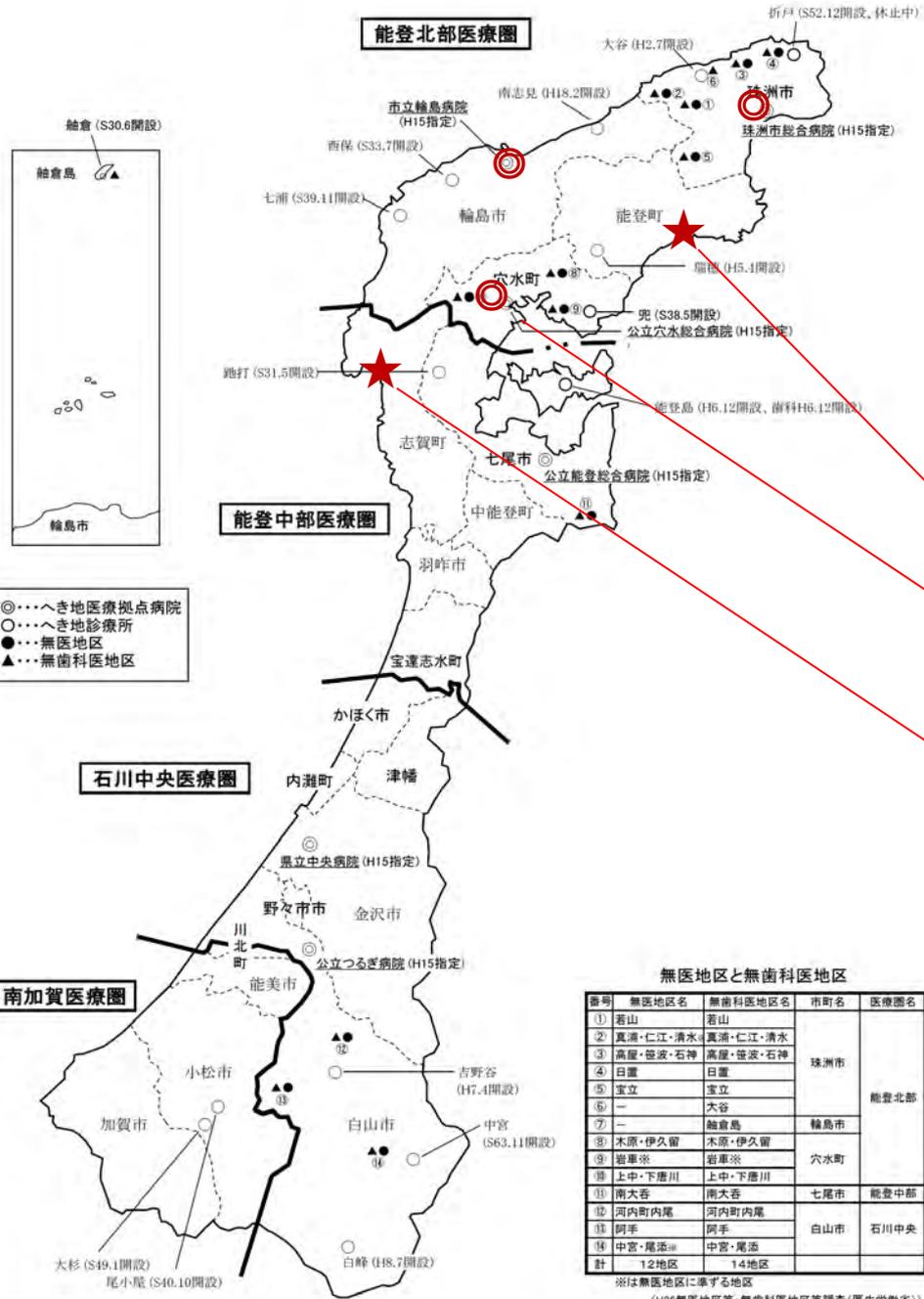
- ① すべての項目についてレベル5以上に到達もしくは到達の見込みである。
- ② 症例サマリを30件以上作成している。
- ③ 症例検討会において5回以上、症例を報告している。
- ④ 筆頭での学会・研修会等での発表を2回以上実施する。

上記の要件を満たした者に対して、薬剤部長の確認を経て、金沢大学附属病院薬剤師臨床研修委員会が金沢大学附属病院薬剤部における「Standardレベル」に到達したKUPS薬剤師であると認定する。

# Agenda

- ① **背景・現状認識(2025年/2040年問題)**  
患者と医療者の高齢化、医療介護福祉需給のギャップ。  
タスク・シフト/シェア、薬剤師偏在(地域/機能/規模)  
目的は住民の健康をまもる医療提供体制の確保である
- ② **病院薬剤師の確保と育成の取り組み**  
本院の人材育成プログラム KUPS と地域病院への出向  
石川県地域連携薬剤師共育プログラム事業化
- ③ **R6 診療報酬改定「薬剤業務向上加算」新設**  
総合的な研修(委員会、指導体制、WEBでの公表)  
都道府県、出向先と連携して地域病院に出向
- ④ **病院薬剤師の未来像**

# 能登北部・能登中部2次医療圏の病院と薬剤師の状況 (2024.11)



病院名 病床数(薬剤数) 状況

(能登北部医療圏)

珠洲市総合病院 163(7)

市立輪島病院 157(6)

柳田温泉病院 180(2)

公立宇出津総合病院 100(3)

2022年4月から本院薬剤師8名が交代で出向中

公立穴水総合病院 100(3) 常勤1名。定年後再任用2名

11月から薬剤業務向上加算算定開始

(能登中部医療圏)

町立富来病院 98(2) 常勤2名!

2018年11月から本院薬剤師1名が出向

2020年4月から常勤薬剤師1名着任

2024年4月に新卒薬剤師1名着任!

公立能登総合病院 434(11)

恵寿総合病院 426(14)

(NHO)七尾病院 214(3)

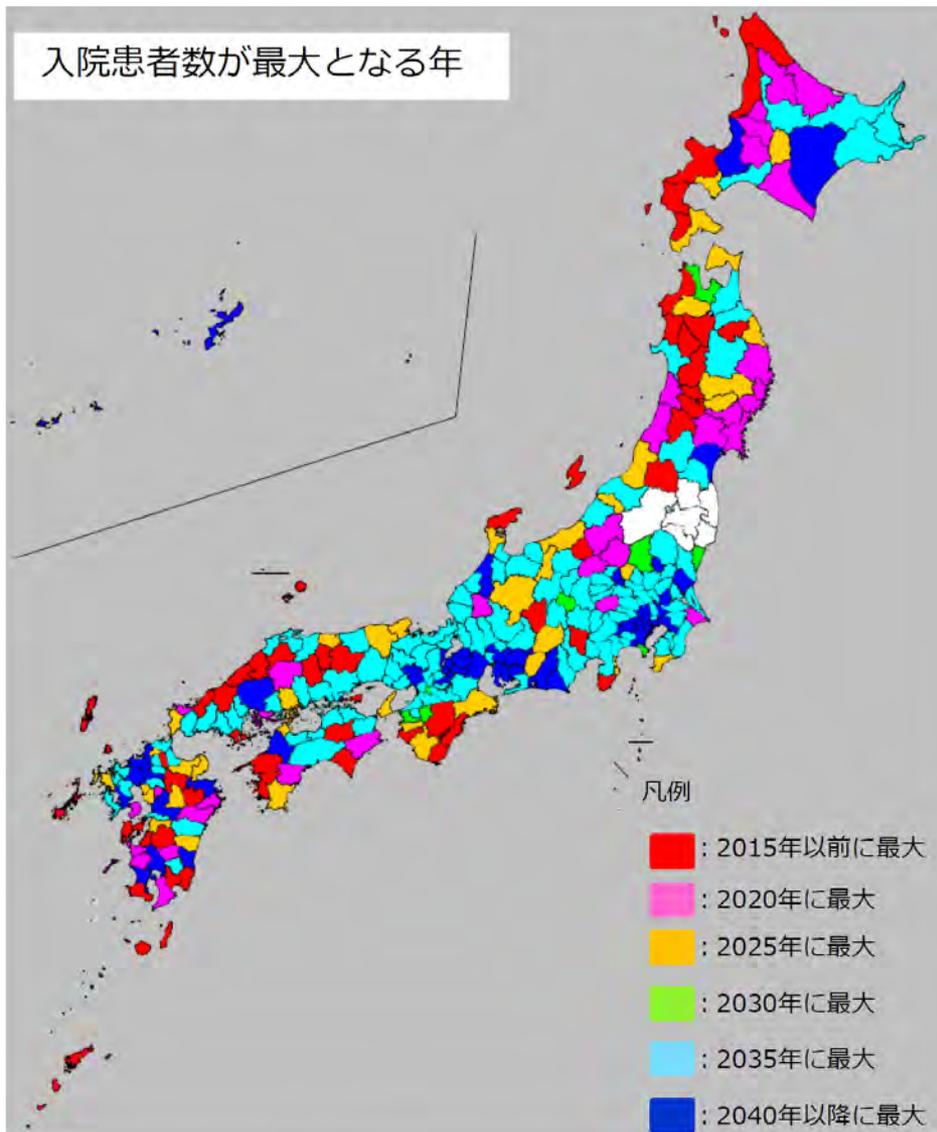
七尾松原病院 108(2)

公立羽咋病院 174(5) 2025.4から院生1名予定

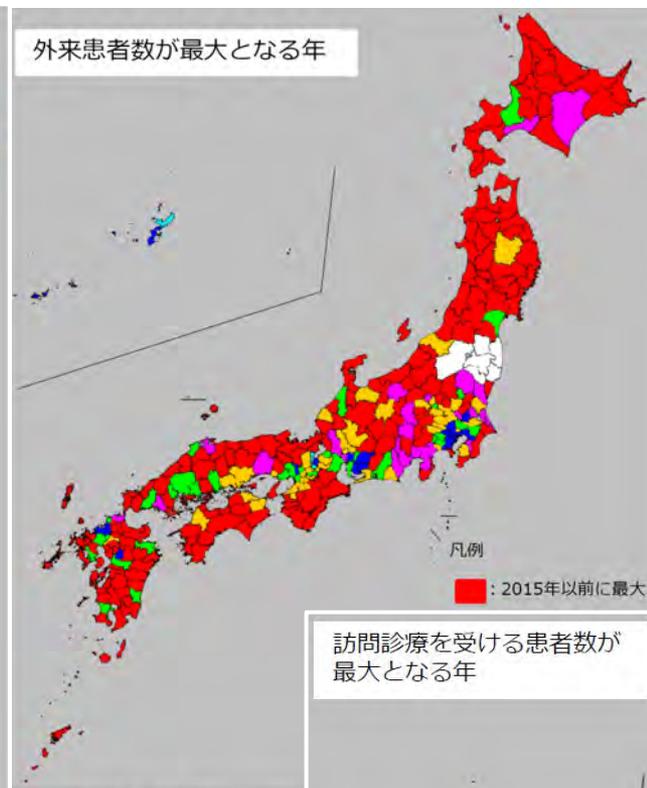
町立宝達市民病院 70(2)

※赤字は陳情を受けた病院

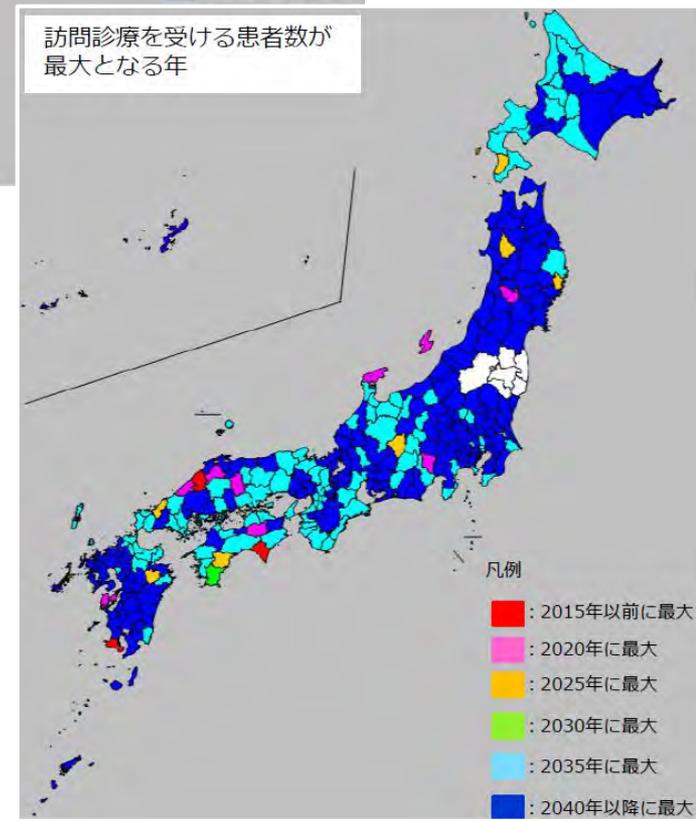
入院患者数が最大となる年



外来患者数が最大となる年



訪問診療を受ける患者数が最大となる年



出典:

患者調査(平成29年)「受療率(人口10万人対)、入院一外来 x 性・年齢階級 x 都道府県別」  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」  
 厚労省ホームページ「第8次医療計画に関する検討会」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_24045.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_24045.html)(ダウンロード日:2022.7.15)

# 2025年以降の変化①：人口動態（地域別）

○ 構想区域別に、年齢区分別人口の2015年から2025年まで、2025年から2040年までの人口変動をそれぞれみると、特に2025年以降については、地域ごとに状況が大きく異なっている。

- ・大都市型では、高齢人口が概ね増加、生産年齢人口は微増～減少
- ・地方都市型では、高齢人口が増加～減少と幅広く、生産年齢人口は微減～大幅減
- ・過疎地域型では、高齢人口が減少している地域が多く、生産年齢人口は概ね大幅減

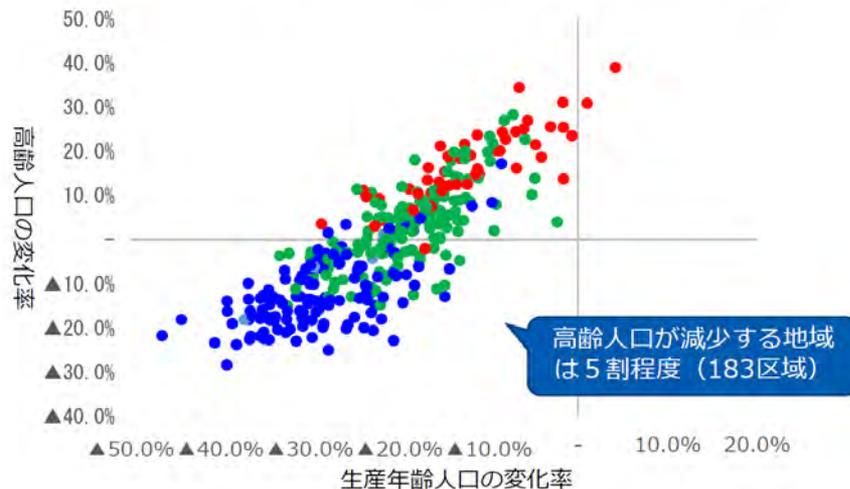
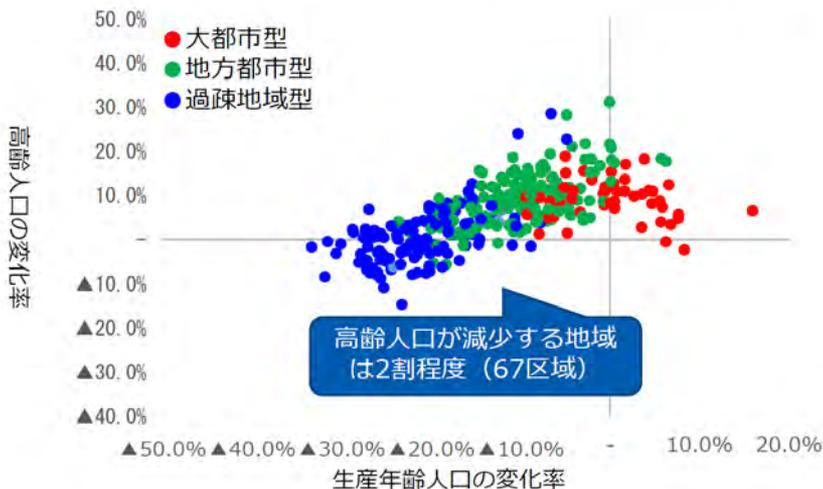
大都市型：人口が100万人以上（又は）人口密度が2,000人/km<sup>2</sup>以上  
 地方都市型：人口が20万人以上（又は）人口10～20万人（かつ）人口密度が200人/km<sup>2</sup>以上  
 過疎地域型：上記以外

<2015→2025の年齢区分別人口の変化の状況>

	年齢区分別人口の変化率の平均値	
	生産年齢人口	高齢人口
●大都市型	-0.1%	9.1%
●地方都市型	-10.4%	8.9%
●過疎地域型	-20.9%	0.6%

<2025→2040の年齢区分別人口の変化の状況>

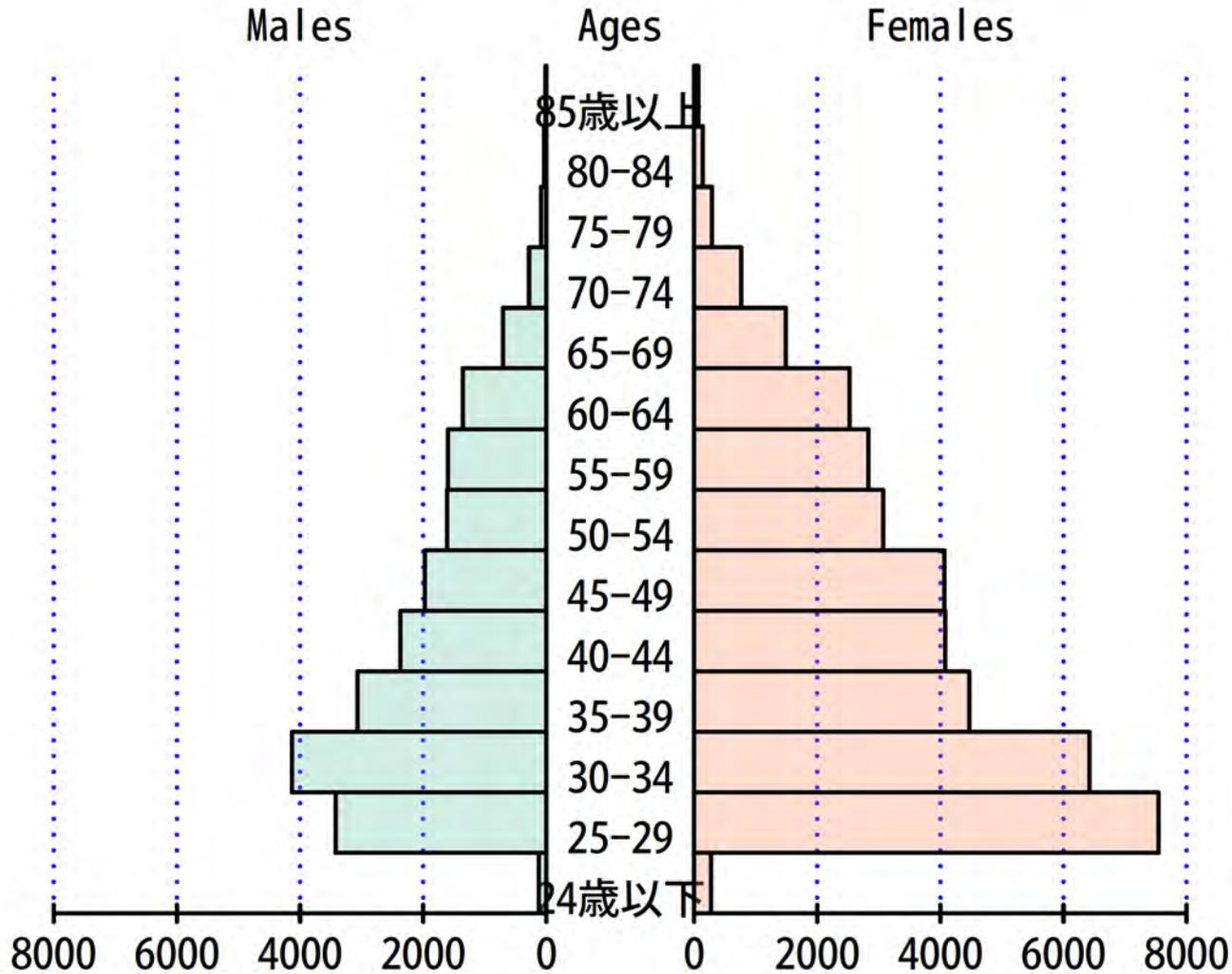
	年齢区分別人口の変化率の平均値	
	生産年齢人口	高齢人口
●大都市型	-11.9%	17.2%
●地方都市型	-19.1%	2.4%
●過疎地域型	-28.4%	-12.2%



出典：2015人口は総務省「国勢調査」（2015年）、それ以外は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（2023年推計）

※福島県の相双構想区域及びいわき構想区域については一体的に推計されているため、これら2つの構想区域を除く337構想区域について集計。

# 全国 平均年齢 42.7 歳



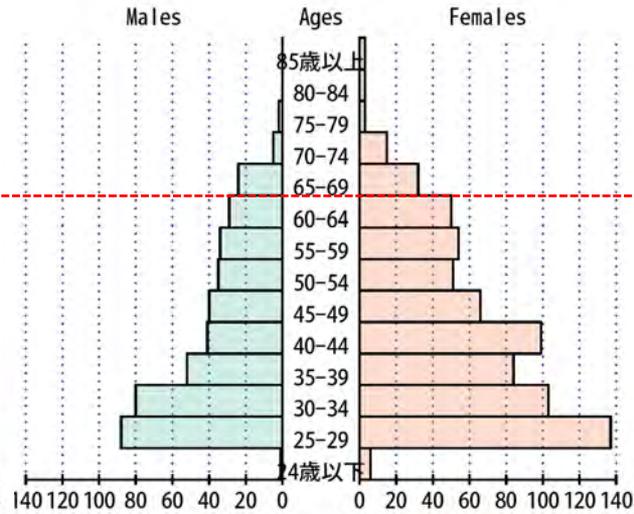
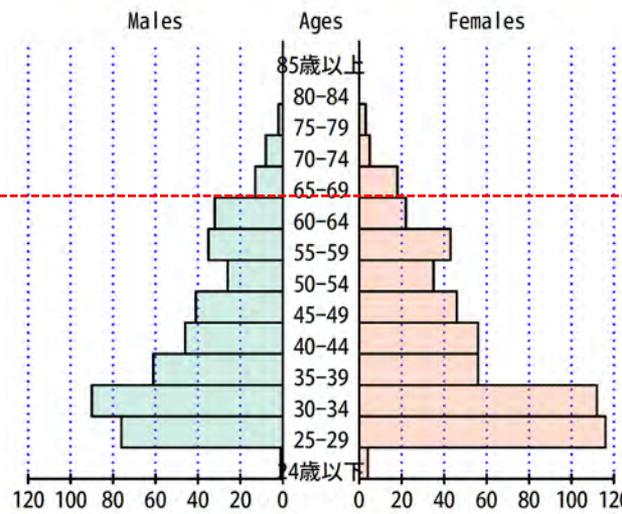
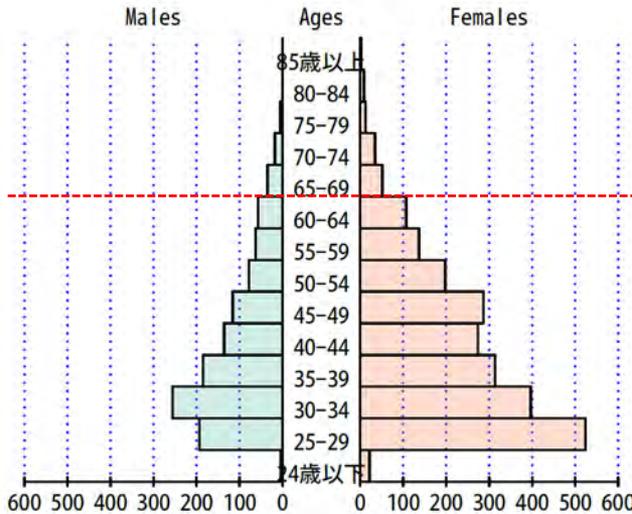
出典：厚労省「医師・歯科医師・薬剤師統計（令和2年）」第61表 薬剤師数、平均年齢，従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市（再掲）、年齢階級、性、業務の種類別・休業の取得別

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html> をもとに日本病院薬剤師会 上山 誉晃氏作成

14 神奈川 平均年齢 41.2 歳

04 宮城 平均年齢 41.4 歳

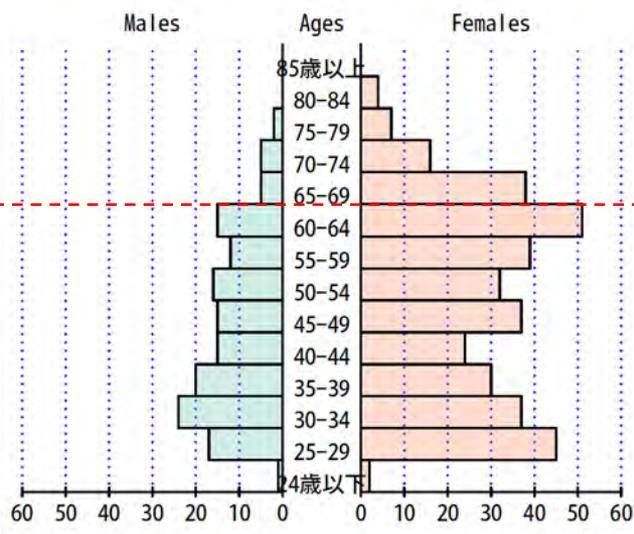
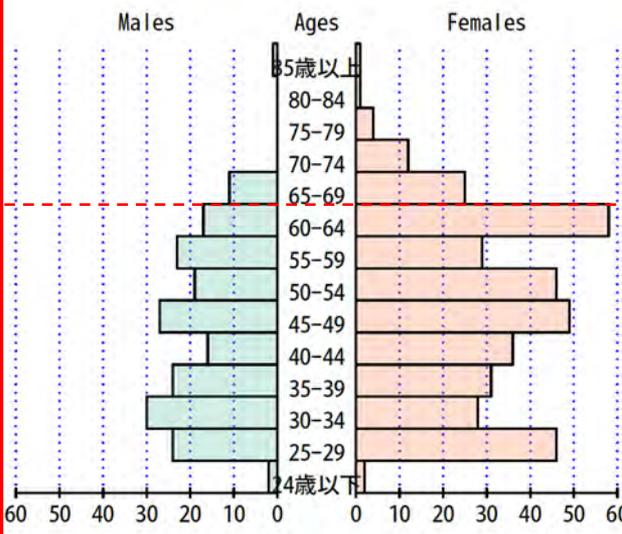
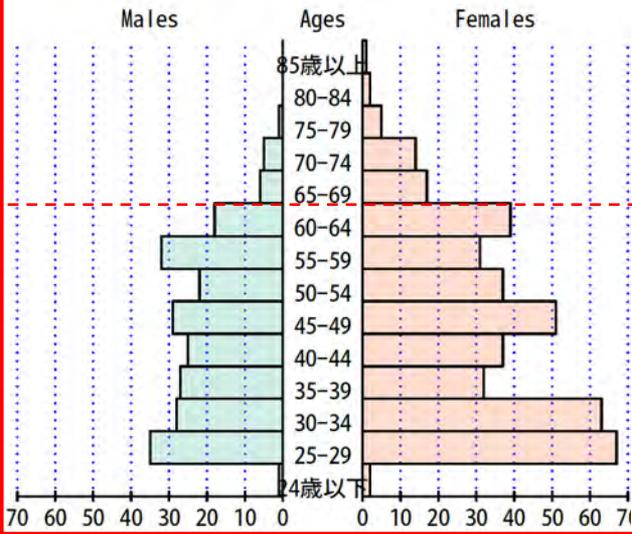
08 茨城 平均年齢 43 歳



17 石川 平均年齢 45.2 歳

16 富山 平均年齢 47.5 歳

39 高知 平均年齢 48.6 歳



# 病院薬剤師の課題

- ・目の前の医療を支える
- ・新たな薬剤業務への対応
- ・地域包括ケアシステムの中の薬剤師  
ロールモデルの確立
- ・今後を支える人材育成

そのために、、、

**自施設だけでなく**

**医療を取り巻く社会に関心を持ち**

**医療人としての立ち位置を築こう**

# 金沢大学附属病院薬剤師 KUPSの立ち位置（合言葉）

・医療人として  
薬剤師として

・ジェネラリストとして  
スペシャリストとして

・地域のコーディネーターとして

**DS/DXはspecialではない。standardである。**

## 金沢大学附属病院薬剤部 将来ビジョン 2040

- ・2040年の人口構造に対応、**地域医療を俯瞰し、高度急性期から慢性期、生活期、介護も視野に薬物療法と健康を支えるフ口集団**
- ・自ら成長し次世代の**医療介護連携体制を先導する多様な人材の宝庫**であり、その**基盤となる人材育成モデルの発信地**
- ・基礎から臨床そして地域へ、**時間、空間の隔たいを越えて活動の場を広げ社会的インパクトを追求する者**に開かれた**研究拠点**

### アクションプラン

- ・専門資格**複数**取得の推進、**人事交流の強化**
- ・金沢大学アドバンスト薬剤師(KU**A**P)の育成、**人材育成/ノウハウの体系化、パッケージ化**
- ・情報基盤の整備、**多専門的連携**の確保、**地域からの相談窓口の設置、研究拠点化**

# まとめ

- 2040年の**医療 / 介護の複合的ニーズ**を**限りある医療資源で支える**必要がある
- 薬剤業務向上加算は、算定対象となる**基幹病院だけでなく地域全体の薬剤業務を向上させる**
- 病院薬剤師が大活躍する未来像とは、
  - **薬があるところに薬剤師あり！**（全田元会長）
  - **患者がいるところに薬剤師あり！！**
  - **住民がいるところに薬剤師あり！！！！**
- **病院薬剤師はポスト2040年の地域に欠かせない存在となる**